

平成27年度 健康福祉部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命 子供から高齢者まで、誰もが生涯にわたって健康で安心して暮らせる地域社会を目指し、健康福祉部各課が課題としている事業や実施計画で計上されている事業等を確実に推進すること。	1.老人福祉センター常磐苑の耐震改修工事の実施及び福味ビルでの事業実施	・常磐苑の耐震工事及び経年劣化に伴う改修工事を実施	・建設部の協力を得ながら改修工事を実施 ・改修に伴う事務所、地域包括支援センター、デイサービスの移転手続きを進める。	・3月25日改修工事終了。 ・3月28日から仮事務所から移転を行い開所した。同日で、地域包括支援センター、デイサービスの移転も行い、事業を開始した。 ・仮事務所として借用をしていた福味ビルは、高齢者の居場所事業を始め、各事業を集約し、「いきいきサポートセンター」として新年度から活用できるよう手続を進めた。	A	
	2.臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金給付事業の適切かつ迅速な執行	・消費税引き上げに伴い、低所得者及び子育て世帯への影響を緩和するために支給される2つの給付金の円滑な支給。	・制度内容の広報 ・本市全世帯に郵送による制度案内(調査同意書同封) ・同意された世帯を対象に受給資格確認 ・申請書の郵送 ・給付申請書の受付 ・給付開始	・臨時福祉給付金 同意書提出件数 8,783件 申請書送付件数 4,393件 申請書受付件数 4,182件 支給決定件数 4,179件 ・受付後、整理できたものから順次振込を行った。 ・子育て世帯臨時特例給付金 申請書受理件数 6,241件 支給決定件数 5,653件 支給決定者数 9,487人 支給決定金額 28,461千円 ・支給対象者への通知・申請勧奨を行い、申請のあった者に対し審査を行い、支給対象者には全員支給できた。	A	

平成27年度 健康福祉部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命 今年度取り組む事項	3.多子世帯子育て応援事業及び高齢者元気応援チケットの配布	<p>どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生事業として、子育て世帯を応援するため、多子世帯に対し、商品券を配布し、経済的負担の軽減を図る。 ・75歳以上で介護認定を受けたことのない方に地域商品券の配布 	<p>重点目標項目を実現するため行う活動や手段</p> <p><商品券> 5月～ 関係課と協議 住民基本台帳から対象者の抽出を行う。 10月9日から順次 商品券発送</p>	<p>目標の達成状況や成果の評価 (できるだけ定量的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯子育て応援チケット 商品券発送総額 7,230千円 商品券使用金額 7,028千円 ・関係機関と協議・調整を行い、10月に多子世帯子育て応援チケット(商品券)を665世帯(児童数723人)に発送した。 ・高齢者元気応援チケット 対象者数 4,416人 送付者数 4,399人 使用金額 42,321,500円 	A	
					A	
4.新規各課計画の推進 ①障害者基本計画・障害福祉計画 ②高齢者保健福祉計画(第6期介護保険事業計画) ③子ども・子育て支援事業計画の推進 ④新型インフルエンザ行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各種計画の進捗管理 	<p>①基幹相談支援センターの開設準備</p> <p>②介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けた整備</p>	<p>・資料収集・他市状況調査(6月) ・方針・スケジュールの作成(8月)</p> <p>・3月1日に総合事業への移行を実施。 ・健康推進課も含めたワーキンググループを立ち上げ、総合事業、地域支援事業の具体化を進めてきた。 ・身近な居場所づくりに向けて、地域で取り組まれている高齢者向け事業の集約・介護予防体操の自主運営のためのボランティア育成など進めた。 ・10月からオレンジルームを開設し、講座の実施や居場所開放を実施した。</p>	<p>・資料収集・他市状況調査(6月) ・方針・スケジュールの作成(8月)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センターの開設に向けた方針及びスケジュールの決定 ・開設 ・身近な居場所づくりのための、実施事業の具体化。 ・いきいきポイント事業を中心とした、居場所事業の担い手の育成。 ・住民を主体とする生活支援事業の具体化。 ・緩和型サービスを含めた介護予防事業の具体化。
					B	

平成27年度 健康福祉部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命 組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項 今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段 ③松井ヶ丘保育園分園の移転事業等の推進 利用者支援事業の実施 ④新型インフルエンザ行動計画にかかる訓練の実施	目標の達成状況や成果の評価 (できるだけ定量的に記入) 【分園移転】 ・予定どおり、分園の移転ができた。 ・分園移転に伴う、賃貸借契約等の事務手続き、リフォーム業者の決定を5月下旬までに行った。 ・リフォーム工事を7月30日までに終え、引っ越し後、8月3日から、新しい施設での保育を始めた。 【利用者支援事業】 ・H27.4月より専任の支援員を配置し、窓口対応を開始した。 ・事業の愛称を”はぐはぐ”と決定、窓口に案内看板を設置した。 ・”はぐはぐだより”や施設の事業をまとめたピックアップ情報紙の定期発行と併せてフェイスブックでの情報発信も開始した。 ④新型インフルエンザ行動計画にかかる訓練の実施 ・平成27年度政府新型インフルエンザ等対策訓練(平成27年11月27日実施)に参加し、メールによる情報伝達訓練を実施した。	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価) A B	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み A B

平成27年度 健康福祉部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命 組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項 今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価 (できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	5.生活困窮者自立促進総合対策窓口(自立相談支援事業)の運営	・国の法律施行に伴い、本市での相談支援体制の強化を図る。 ・生活困窮相談者を、ワンストップ型支援として初期対応、さらに、必要に応じて伴走型支援により、生活保護に陥る前の支援策ができるよう府内体制の構築、府ジョブパーク、ハローワーク、社協、民生委員との協力・連携体制での支援	4月 相談窓口の設置(仕事と暮らしの相談室) 7月 ホームレス対策として、一時生活支援事業の開始 8月 夏季暮らしの資金貸付事業の拡大実施。 10月 庁舎内体制の確立に向けて、支援調整会議(府内連携)の開催	・相談窓口設置済(4月) ・相談受付件数 202件 ・一時生活支援事業契約済(4月) ・利用件数 0件 ・夏期暮らしの資金貸付実施済 ・貸付件数 11件 ・支援調整会議については、必要に応じて開催	A	・支援調整会議を必要に応じて開催していく。